

# 国民のための 行政の推進



行政評価局 調査官

**中村 隆一**

NAKAMURA Ryuichi

昭和61年 4月 総務庁採用  
近畿管区行政監察局  
平成14年 4月 行政管理局企画調整課総務係長  
平成16年 7月 行政評価局評価監視調査官  
平成18年 7月 大臣官房総務課課長補佐  
平成19年 4月 大臣官房秘書課課長補佐  
平成20年 7月 行政管理局副管理官  
平成22年 8月 行政評価局評価監視調査官  
平成24年 4月 行政評価局総括評価監視調査官  
平成25年 6月 現職

## 『現場をつぶさに見れば良く分かる』

行政評価局は、効果的、効率的な行政を推進するため、各府省が実施している業務の課題と原因を明らかにし、改善方策を示していくという仕事を行っています。具体的には、本省で企画した調査計画に基づき、全国に配置されている出先機関である管区行政評価局が、国の機関、独立行政法人、地方公共団体、民間事業者等の現場を实地調査して把握したつぶさな行政実態等を分析、評価し、関係府省に改善方策を勧告するというものです。

行政が実施している様々な政策、施策、事務・事業は目的的に遂行することが必要ですが、現場では企図したとおりに効果を挙げていなかったり、目的と実際の業務実態等にズレが生じていたりすることはよくあります。当事者では見えにくくなるものを第三者的視点で、あるいは府省横断的な視点から、国民は何に困っているのか、それはなぜ起こっているのかを明らかにした上で、関係府省に改善を求めていくやりがいのある仕事です。

## 『自由な発想と活発な議論』

様々な行政課題の中から行政評価局が行う調査としてのテーマを考え、優先順位をつけて実施していくに当たり、行政評価局は調査テーマのシーズを入りたての1年生からも自由に提案できる風通しの良い職場です。テーマのシーズを提案するには、常日ごろから職員一人一人がアンテナを高くし、変化を見極め、問題意識を持って事象を見ていくことが必要です。しかし、一人よがりになってはいけませんので、皆で予想される問題の本質について年齢・役職関係なく徹底的に議論を戦わせ、テーマとして妥当かどうかを検討していきます。このことが、ダイバシティあふれる集団である私たちの強みですので、異能な者、大歓迎です!!

国民のための仕事为国家公務員の原点であることさへ肝に銘じていれば、あとは自由な職場環境です。

## Some One Week

### Monday

毎週月曜日に行う室内連絡会で、各班の業務進捗状況と今後の予定を確認



### Tuesday

A班による調査計画のコンセプトについて、室内検討、修正指示

### Wednesday

B班による調査結果の取りまとめ方法について、室内検討、修正指示

### Thursday

勧告後の各府省の改善状況についてフォローを行っているC班を指導

### Friday

A班による調査計画のコンセプトの審議官、局長説明(1ラウンド)

## Private Time



大きくなった？妻と娘2人(社会人&大学生)にかまってもらえない普通の親父は、毎朝・晩と必ず見送り、出迎えてくれる愛犬と、休日はドライブ&散歩を思いっきり楽しんでいます。

ドッグランで思いっきり自由に走り回る愛犬を見るのが好きです。